



お見事です

酪農家の方によれば、牛の場合、「寸胴」が美人の条件だそうです。そうした体格の牛は、お乳の出が良いのだとか。

今回、「牧場の牛」というタイトルで乳牛を描いてくれた大輔さんは、伊達市に住む、元気な男の子。

動物が大好きで、最近は動物図鑑などいろいろな生き物の生態を調べることに熱中しています。

その旺盛な好奇心と、牧場が周りに位置するという環境が大輔さんの観察眼を鍛えたのでしょうか。モデルに選んだのは抜群の美人牛！

8才にして、プロ顔負けの目利きぶりを発揮した大輔さん。もちろん絵の腕前も「お見事」の一言です。